

漢方情報のニーズ調査（アンケート）結果について

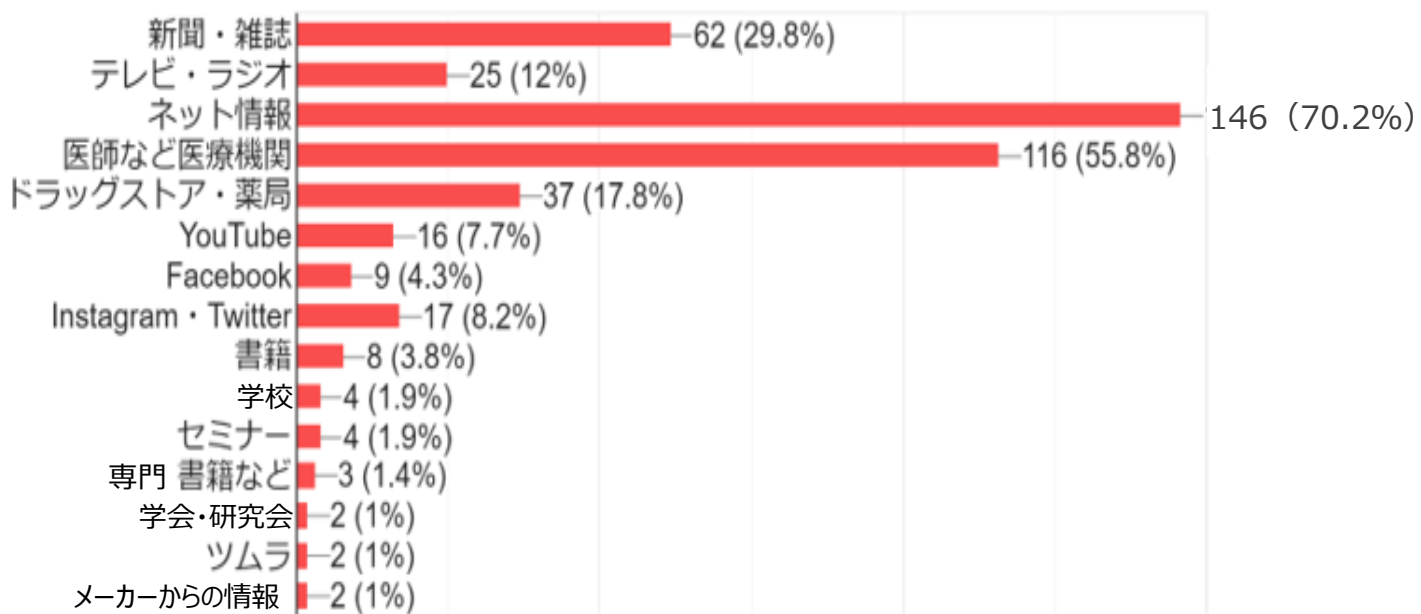
2021.2.16

回答総数：208 件（依頼数 約 1.6 万件（メルマガ≒1.6 万+LINE 約 200 件）

回答率：1.3% 問題数 8 問

問1 漢方に関する情報を何から得ていますか？（複数回答可）

208 件の回答



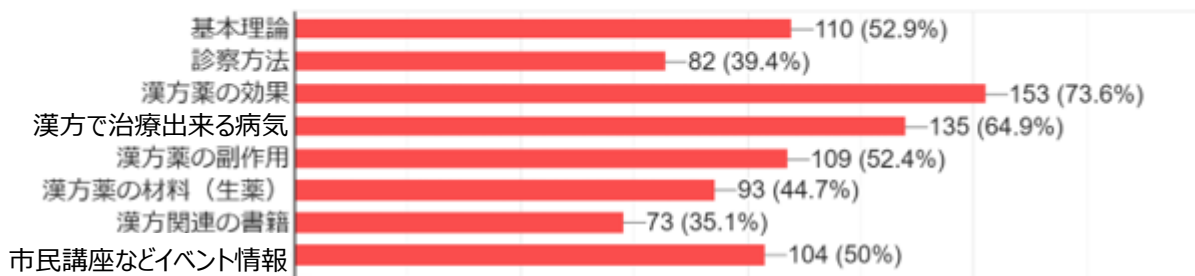
その他の主なご意見として、

- 協会の情報
- 薬膳の教室
- 友人
- 論文
- 漢方医
- 漢方アドバイザー通信講座

といったご意見がありました。

問2 漢方についてどのようなことを知りたいですか？（複数回答可）

208件の回答



その他として、

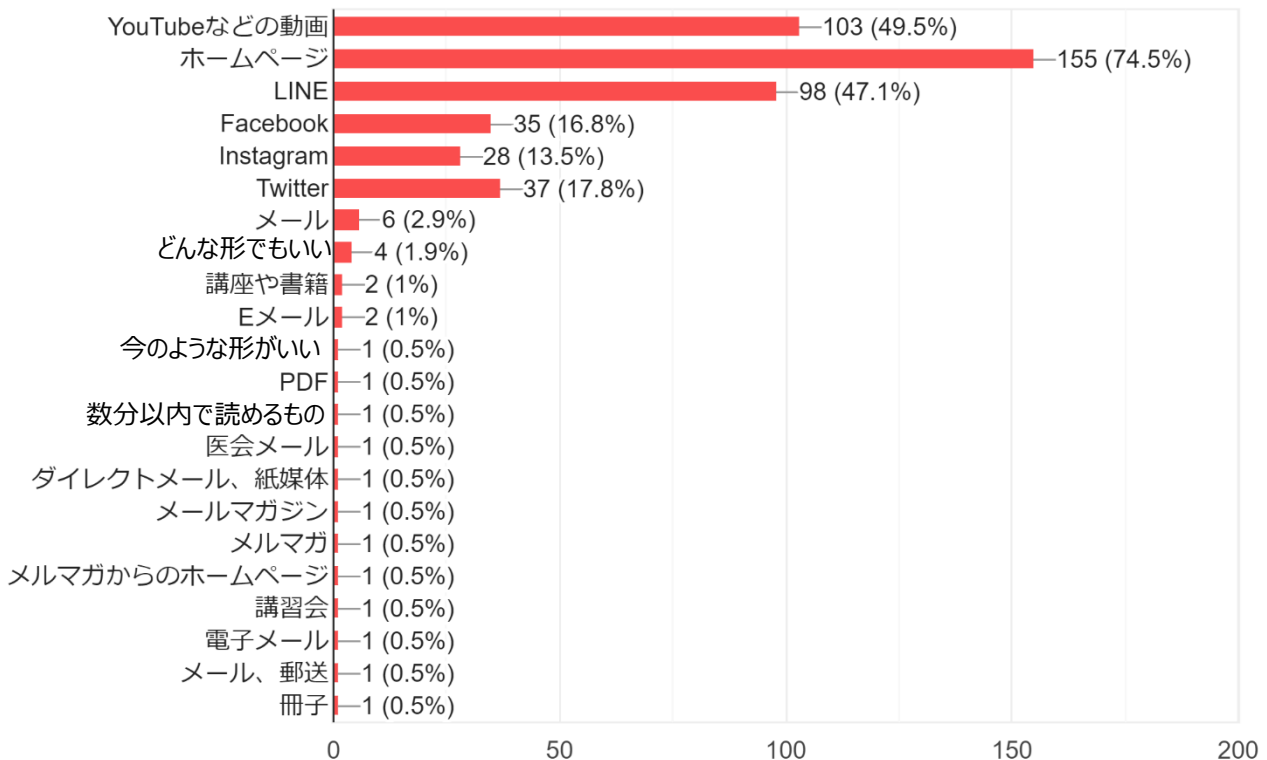
- 日中韓の漢方薬の違い（日常的な使い方や伝統医学としての違いなど）
- 腸管免疫と漢方の関係 ● ある治療での標準価格
- 歴史 ● 妊婦への使用について
- 西洋医学と漢方との違い ● 一般人が家族などに対するアドバイスについて
- 日常生活で取り入れられる東洋医学的な考え
- 書籍

といったご意見がありました。

問3 今後、当会から漢方情報を受け取る場合、どのような媒体であれば利用しようと思われませんか？

208件の回答

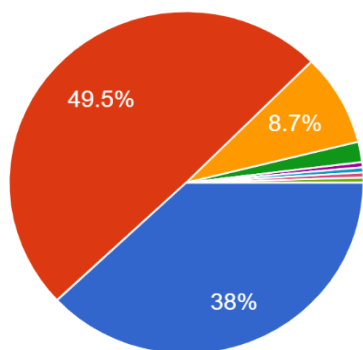
（複数回答可）



※書き方が違いますが、メールがいいという意見も割と多く見られました。

問4 普段ネット接続には、主として何を使用されていますか？

208件の回答

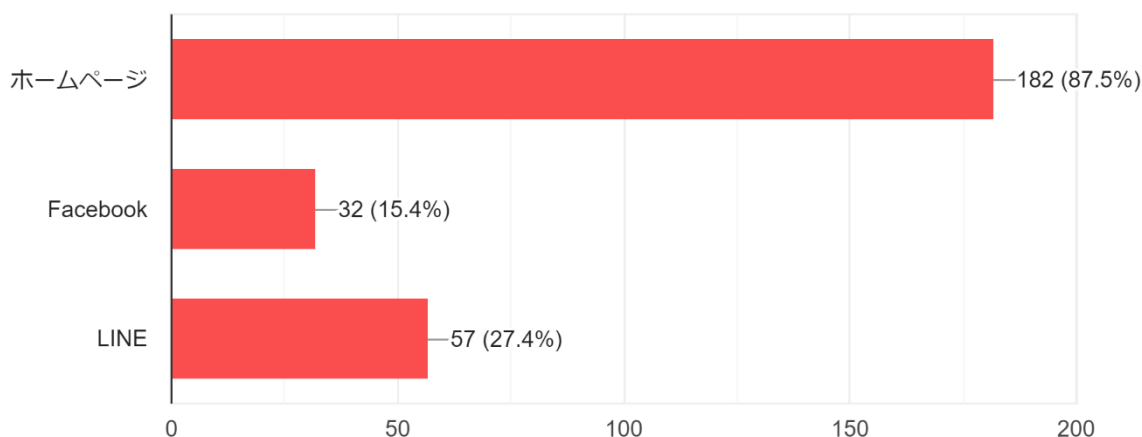


- パソコン
- スマートフォン
- タブレット
- 情報量が多ければパソコンで、さほど多くなければスマートフォンで。
- その時により、タブレットとスマートフォンを使っています。
- パソコンとスマートフォンが同比率です
- パソコンとタブレットの二台。
- スマホ画面は気持ち悪くなるので、二つ折り携帯の小さな画面

問5 当会はホームページやFacebookなどを運営していますが、内容をご覧になったことがあるものはどれですか？

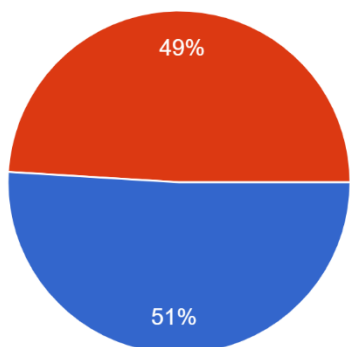
208件の回答

(複数回答可)



問6 一般の方への情報提供や漢方普及の活動をさらに充実させ、また当会の活動を支援していただくため、当会では「サポーター制度」を検討しております。サポーターとしてのご登録を希望されますか？

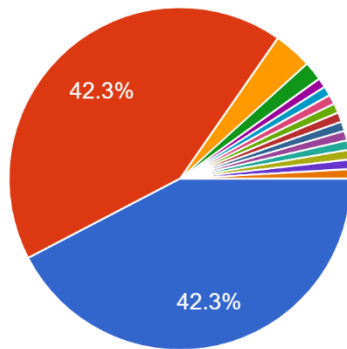
208件の回答



- はい
- いいえ

問7 問6で「はい」の方へ：ある程度の運営費が必要となるため、サポーター費（年払い）の導入を検討しています。どのくらいの額であれば、ご登録を検討されますか？ ……選択肢は3つ（500円/年・1000円/年・その他）

111 回答



- 500円/年
 - 1000円/年
 - 料金は、内容次第と考えます。
 - 内容によっては上記以上もありです。
 - 問6 どちらでもないという選択がなかった。
 - 1000～10000円
 - 内容により検討したいです
 - 1000～10000円/年
- 少額でも、銀行の振込手数料が発生するのでしょうか？
 - とりあえず無料で開始し、状況を見て決める。
 - 内容がわからず、金額設定できません
 - まずはメルマガ購読のみ
 - 銀座のキャバクラ通う松本純との関係が断ち切れるならいくらでも。
 - 3000円～5000円ぐらい
 - 当初は無料ですべき

⇒無料の選択肢を入れてなかったのが、アンケート回答が208件のところ、回答数がおおよそ半分になってしまったのではないかと、思います。

問8 問6で「はい」の方へ：どのような会であれば参加を希望されるか、

もし、具体的なご希望があれば、教えていただけませんか？ 87 件の回答

- ◇ 中医学の知識を、今後、むしろ仕事に役立てたいと思っていますので、参加できるかどうかは現時点では不明です。
- ◇ 皮膚科関連
- ◇ 市民講座の回数が増えればよいかと考えます。具体的には、現状1年毎の開催ですが、3か月毎位になると嬉しいです。もちろん参加希望です。
- ◇ 漢方の診察方法のレクチャーが聴きたいです。
- ◇ 具体的な漢方薬の使い方など。症状別のシリーズで講座があっても良いと思う。
- ◇ 情報共有ができる場
- ◇ 医師、薬剤師のみならず一般の人でも参加しやすい会
- ◇ オンラインでの講演会など

- ◇ 漢方の利点・欠点の両方を偏らずに公表し、議論の場となる集まりとしていただきたい。
- ◇ 日常での漢方の取り入れ方について質問を受け付けてほしい。
- ◇ サポーターとして正式に登録しなくても、時間の空いた時に協力させてもらう方がいいです。本のプレゼントですが PDF の方が読みやすいです。
- ◇ 地方での講演会等あればと思います。
- ◇ エビデンスを含めた情報提供や実践的な情報提供があれば。
- ◇ 内容の充実した情報誌を年に 1 回で良いので送ってください。
- ◇ 11 月にあったような講座ほど本格的で長時間でないにしても、1 時間くらいのオンライン講座で月 1 回～3 か月に 1 回程度の漢方についての知識を教われる機会がある。
- ◇ 社会的な実情に沿った内容を、漢方の専門から有利にサポートをできる会。
- ◇ 一般の方に東洋医学全般（漢方・鍼灸）を広めていける様な活動。
- ◇ 漢方の知識が得られる情報の発信を LINE や Instagram で少しずつでも気軽に日々チェック出来ると何かの気付きが得られて楽しく習慣付けられると思う。また、本当に困った時だけでなく、気軽に漢方の個人的な相談ができる窓口と繋いで下さる(紹介していただける)システムがあれば非常に有難い。
- ◇ あいにく海外在住なので、日本での会合などには一切参加出来ないはずですが。この質問については全く考えていなかった事もあり、今すぐには特に申し上げられる事はありませんが、皆さんで漢方医学の素晴らしさを共有し、広めていける良いアクションとなりますように、願っております。
- ◇ 毎日飲んでも良い漢方薬と頓服的に使う漢方薬はどれか？ など知りたい。
- ◇ 医療関係者と一般市民を繋ぐ開かれた会
- ◇ 会報誌があるなど、会員だけのメリットがあること社会的な実情に沿った内容を、漢方の専門から有利にサポートをできる会
- ◇ 無料の一般向け漢方講座の開催（季節に合わせたものや、疾病別に）
- ◇ 漢方の保険外しがたびたび上がるので、漢方の高齢化社会での有用性を訴えられる会
- ◇ 東洋医学的な診察方法 目的がほぼ同じ漢方薬の使い分け
- ◇ 健康、未病、疾病と、漢方の活用に役立つ説明資料の啓蒙、公開を検討する。
- ◇ 病を診るばかりで無く人を診る漢方の知恵と力を優しく正しく発信！
- ◇ 漢方薬医学の話が聞きたい。
- ◇ 講習会やオススメの書籍の紹介など
- ◇ 疾患症状ごとに適する漢方薬が知りたいです。
- ◇ 漢方薬の最新情報や特徴的な診察をしている漢方医院の情報を知りたい。
家庭における漢方の案内書籍や東洋医学的な身体の手当てのしかた等も知りたい

- ◇ 薬材の植物採取や効能などについて
- ◇ セルフメディケーションから始めていくとしても、どの段階で医師の診察を受けるようにすべきかの境目の啓発や、すでに市販されている漢方薬の具体的な使い方の説明。
- ◇ オンライン講座
- ◇ 季節ごとに漢方講座を希望します。
- ◇ 漢方に関する初歩から専門までの知識を段階的に学べ、それを第三者に伝えられる学習の場。その前提として、正しい医学的知識を身につける基礎医学講座も行っていただければと思います。例えば、コロナ禍なのでウイルスを撃退する身体機能について、T 細胞はどういう機能でどこで作られるかなども含めた総合的な理解を前提に、それらに漢方がどのように作用して身体を健康に維持するのかなどを学べる会にしていただければありがたいです。講座-検定みたいな仕組みや、マンガで分かる漢方などがあっていいと思います。
- ◇ 底が浅い会や西洋医による解釈主体の会が多いので、純粋に漢方処方についての会に参加したい。
- ◇ イメージわからないので日程あえば参加させていただきます。
- ◇ ネットでの匿名参加。
- ◇ 定期的に zoom などで役立つ講座がある、zoom で交流会的なもの(プロでない人も参加できる)
- ◇ 漢方医がいないため漢方治療ができない地方に住む方が漢方の知識を得られるような会(オンラインなど)があれば、持病のある両親にも参加させたい。
- ◇ 近所の漢方に詳しい先生を知りたい。とりあえず最初の段階の不調に使える(薬局で買える)漢方薬の紹介。
- ◇ 患者さんに説明する資料を発行してほしい。ネット配信による講演会(いつでも視聴できるタイプ)。
- ◇ 年に1回以上は講習会を開催してくださる。それはリアルとネット配信両方あるとありがたいです。
- ◇ 講習会など双方向で情報がキャッチできる場。
- ◇ 医療相談 ボランティア など。
- ◇ 医師向けの研修会にも出席できるようにしてほしい。
- ◇ WEB 講演会 など
- ◇ 事例の多い具体的な治療方法についての説明など・・・。
- ◇ 任意で参加できる、拘束時間が長くない、費用がかからない等。
- ◇ 会員のみが参加できる勉強会。講師と話せる機会。会員と情報交換できる機会。メリットがなければ会員にはなれない。
- ◇ 専門家や学生同士が気軽に情報/経験共有できる場であれば嬉しいです。
- ◇ 一般向けの資料の作成や共有

- ◇ 病院内に掲示やパンフレットを置くこと。
- ◇ 養生・薬膳料理・漢方薬の使い方。
- ◇ 漢方について、メールや zoom 等で相談できる機会があると良いです。
また漢方の最新情報等をお知らせ頂けると良いです。
- ◇ セミナー優待
- ◇ 政府に対して漢方薬の保険外しなどに対する運動。
- ◇ リモートや YouTube などでの講演会参加など。
- ◇ ネットで開催して貰えると参加できる。
- ◇ 患者さんからおまじないというイメージを良く耳にします。
そうしたイメージを払拭するエビデンスの提示をお願いします。
- ◇ オンライン勉強会
- ◇ 活動により様々な先生と意見交換ができ、活動をすることで自分の成長にもつながる会。
- ◇ 日曜や祝日開催
- ◇ 講演会に優先して申し込みができるなどの特典があると嬉しい。
- ◇ 自己の知識レベル等が冷静に診断できる会
- ◇ 腹診や治療技術に関する内容であれば、実際に参加したい意向があります。
- ◇ 漢方薬での有効な症例を知りたい。
- ◇ ドラッグストアで買える漢方の、正しい使い方、正しい知識を
一般の人に伝えるための講習会があれば、ぜひ参加したいです。
- ◇ 友人等への PR
- ◇ 西洋薬と漢方薬の良し悪し。漢方薬工場見学や薬用植物園など生薬の勉強会。
日本の伝統薬や漢方の良さを広めるイベント。気功や薬膳、日頃の養生法
(家庭でできるマッサージやお灸) の勉強会。養生訓や易、黄帝内経、傷寒論などの古典の勉強会。
- ◇ 有益で適切な情報が適宜得られるのであれば。
- ◇ 定期的に漢方に関する情報を配布していただけると嬉しい。
- ◇ 講習会 市民講座 メール
- ◇ 一般人から医療関係者まで関心を持つひとが広く入れる会。
- ◇ 医療系の職種にこだわらず勉強できる会であれば参加したいです。
- ◇ 市民祭りなど
- ◇ 漢方に興味があるので色々と勉強できると嬉しいです。